

平成29年度第7回安城市地域ケア推進会議

日時 平成29年10月19日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 在宅医療を広く知ってもらう方法について

1) サルビー見守り劇団

2) 福祉まつりでのPR

3) 在宅医療ガイドブック(仮称)について(資料1)

(2) 保健福祉部会検討内容の報告(資料2)

住民主体(地域活動)による移動支援について

(3) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告(資料3)

・医師会部会

・デイネット部会

・認知症を知る講演会

(4) 見守り協定の報告(資料4)

連絡事項

【在宅医療・介護連携推進のための研修会】

テーマ: 口腔ケア研修会(歯科医師会部会)

日時: 平成29年10月19日(木) 午後3時30分から

場所: 総合福祉センター 1階 会議室3

講師: 板倉 直美 氏、中根 尚美 氏(公益財団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部)

テーマ: 住民による移動支援(保健福祉部会)

日時: 平成29年11月14日(火) 午後2時から

場所: 社会福祉会館 2階 講座室

講師: 遠山 哲夫 氏(NPO法人移動ネットあいち 理事長)



次回 平成29年11月16日(木) 午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室

## 在宅医療ガイドブック（仮称）への意見募集

\*平成29年12月21日（木）までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当寺田) : E-mail: [terada-yukiko@city.anjo.lg.jp](mailto:terada-yukiko@city.anjo.lg.jp) または FAX 0566-74-6789

部会名	
-----	--

タイトル案
-------

ページの構成、掲載項目順について
------------------

掲載するQ&Aについて	
質問案	回答案

## 在宅医療ガイドブック（仮称）への意見募集

\*平成29年12月21日（木）までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当寺田) : E-mail: [terada-yukiko@city.anjo.lg.jp](mailto:terada-yukiko@city.anjo.lg.jp) または FAX 0566-74-6789

部会名	
サービスの種類	
キャッチコピー	
想定される困りごと	
サービスで できること	
相談窓口	

平成 29 年度

## 安城市地域包括ケアシステムにおける各部会検討報告書

部会名 ( 保健福祉 ) 部会

検討テーマ	住民でできる移動支援
検討内容	<p>「町内等で開催されているサロンに参加したい人が行けるような自動車での支援」について検討した。</p> <p>1. 移動支援に関するニーズ把握をするため、各地区社協職員に、ヒアリングを行う。質問内容は以下のとおり。</p> <p>問 1. サロン活動に参加できなかった人が参加できるようになるニーズがある？</p> <p>問 2. 車による移動支援を行うことにより、福祉委員会の活動の幅が広がり、関わりを持てなかった人へのアプローチをすることにつながるか？</p> <p>結果、サロンに行きたいという希望はあるものの、会場まで距離があるため行けなかったり、サロン運営者も受け入れたいが運営自体に手一杯で、送迎まで手が回らないなど、移動支援のニーズが確認できた。</p> <p>2. 今後、住民で移動支援を行うにあたりどのような方法で活動の推進を行うか検討した。</p>
結果・方向性 など	生活支援コーディネーターとして平成 30 年度に「運転ボランティア養成講座」を実施し、ボランティアの育成をすることによりサロン活動の活性化を図る。
検討回数・方法	会議 4回 参加人数 延べ 16人 電話 FAX メール その他 ( )
備考	

在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果 (医師会部会)  
 平成29年9月23日(土)「第2回 安城市エンドオブライフ・ケア」講師:安城更生病院 杉浦真先生

※研修会の参加者 22名。アンケート回収 21名 (回収率 95%)

## 1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	1
2	看護師	8
3	理学療法士	1
4	ケアマネジャー	8
5	社会福祉士	1
6	介護福祉士	1
7	その他	1
合計		21

## 2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	2
2	診療所	2
3	訪問看護ステーション	5
4	老人保健施設	1
5	居宅介護支援事業所	8
6	地域包括支援センター	2
7	その他	1
合計		21

## 3. 研修の反応

(1)わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	20
2	まあまあわかりやすい	1
3	どちらでもない	0
4	あまりよく分からない	0
5	全く分からない	0
合計		21

(2)満足度		人数
1	満足	19
2	まあ満足	2
3	どちらでもない	0
4	やや不満	0
5	不満	0
合計		21

## 4. 今後、企画してほしい研修など

- 意思決定支援をどう支援していくか、いろんな事例検討の研修
- 8050問題について
- 多職種でのグループワークは学びが多いので又お願いします。
- 麻薬の使い方、在宅でのコントロール
- がん看護でのターミナルケアについて
- 地域で安心して生活できるケアシステムを作る方法

(3)今後に活かせるか		人数
1	活かせる	16
2	部分的に活かせる	4
3	どちらでもない	1
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
合計		21

## 5. ご意見・ご感想

- 倫理的価値観・考えなど奥が深いと改めて実感できた。
- 意思決定支援むずかしいですが、実際の業務の中に活かしていきたい。  
ロールプレイがとても役に立った。他の見方を知る事ができた。
- とても楽しい時間を過ごすことができました。多職種の方々との関わりが持て大変良かったです。

## 第2回 安城市エンドオブライフ・ケア研修会 アンケート結果

開催日時：平成29年9月23日(土)

時間：10時～16時

場所：安城市医師会館

研修会の参加者：22名

アンケート回収：20名(回収率 91%)

### 1. 興味を持った項目 (複数回答)

項目	人数
コミュニケーションスキル	11
スピリチュアルケア	2
エンドオブライフ・ケア	12
アドバンス・ケア・プランニング	4
臨床倫理	10
構造構成主義	5
合計	44

### 2. 内容の価値について

価値の程度	人数
極めて価値あり	9
かなり価値あり	11
いくらか価値あり	0
価値が少ない	0
価値なし	0
合計	20

### 3. 内容に関する時間料

時間枠	人数
多すぎ	0
やや多い	2
ほぼ適当	14
やや少ない	4
少なすぎ	0
合計	20

### 4. 研修の必要性

必要性について	人数
強く思う	16
どちらかと言えば思う	2
思う	2
あまり思わない	0
思わない	0
合計	20

### 5. 今後の研修参加希望

今後の参加希望	人数
強く思う	12
どちらかと言えば思う	4
思う	4
あまり思わない	0
思わない	0
合計	20

### 7. 研修会全体の良かったと思う事

- ・多職種の方々と関わりが持て良かったです。倫理の事が分かりました。(難しいですが、..)
- ・多職種の意見が普段話し合う内容ではないテーマで、聞いた事は学びになりました。自分のコミュニケーションスキルの傾向に気づけたのが良かったです。自分の生き方を見つめる機会になりました。
- ・ロールプレイを実施してみて、話の聞き方・問の取り方など分かりました。
- ・多様な価値観を持つ人々との話し合いで、意思決定への援助方法を学べた。
- ・事例を通して多くの事を考えさせて頂きました。ありがとうございました。
- ・グループワークで他の人の意見が聞けたこと、自分の意見が言えた事が良かった。
- ・多職種の方々の意見、考え方に触れる事ができたこと。
- ・在宅医療、介護の視点での考え方について知る事ができた。多職種のカンファの重要性を実感できて良かった。
- ・コミュニケーションスキル、グループワークでの討議が良かった。
- ・役になり(実感)体験できた点
- ・倫理は学生時代に学習したくらいで、医療倫理についての講義は興味深かったです。禅の世界に一部通じるような気がします。
- ・ロールプレイが多かったのが良かった。様々な価値観があり、グループワーク中にとっても参考になった。温かい飲み物があつて良かったです。
- ・ロールプレイつまることなく楽しく参加する事ができた。
- ・意思決定や倫理的問題について一つの事例を通じて様々な職種でグループワークがやれたことは、いろいろな意見が聞けて大変良かったです。

### 6. 今後取り上げて欲しい研修テーマ

研修テーマ	人数
胃瘻の選択	4
事前指示	6
麻薬の使い方	5
多職種連携	8
判断能力をどう判断するか	7
代理判断	7
栄養の中止、差し控え	1
QOLの評価	3
非がんの緩和ケア	12
栄養管理	1
その他	1
合計	55

(複数回答)

\*その他

・合意形成のプロセス

### 8. 研修会全体にわたり、芳しくなかったと思われる事

- ・ロールプレイで他のグループの方達とも話せると良かった。
- ・内容に対する時間はこのくらい必要ですが、盛たくさんすぎて少々..。本日一日分を2回に分けて頂けても良かったような..
- ・休憩、トイレ休憩の時間が少なかった。役割があると話し合いの中、トイレにも行けない。
- ・少し寒かったです。
- ・特にありません。むしろ和やかな雰囲気の中で良かったです。

### 9. その他

・準備等いろいろありがとうございました。

## 9月27日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

テーマ: 地域と事業所(施設)との関係づくりについて(デイネット部会)

アドバイザー: 清水隆幸氏(八千代リハビリデイサービス 管理者)

発表者: 渥美智久氏(デイサービスオレンジ)

岡田高志氏(デイサービスみどり 管理者)

伊藤拓弥氏(特別養護老人ホームあんのん館・福釜 相談員)

※研修会の参加者 95名 アンケート回収 68名(回収率 71.6%)

### 1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	1
2	歯科医師	0
3	薬剤師	0
4	看護師	9
5	保健師	1
6	理学療法士	1
7	作業療法士	3
8	言語聴覚士	0
9	栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	0
12	ケアマネジャー	21
13	社会福祉士	8
14	介護福祉士	7
15	ヘルパー	1
16	その他	14
0	不明	2
合計		68

### 2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	6
2	診療所	0
3	薬局	0
4	訪問看護ステーション	4
5	老人保健施設	2
6	特別養護老人ホーム	2
7	有料老人ホーム等	0
8	居宅介護支援事業所	13
9	地域包括支援センター	11
10	社会福祉協議会	6
11	介護サービス事業者等	10
12	町内会、福祉委員会、児童・民生委員等	13
0	不明	1
合計		68

### 3. 研修の反応

(1) わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	40
2	まあまあわかりやすい	24
3	どちらでもない	3
4	あまりよく分からない	1
5	全く分からない	0
0	不明	0
合計		68

(3) 今後に活かせるか		人数
1	活かせる	27
2	部分的に活かせる	32
3	どちらでもない	6
4	あまり活かさない	0
5	全く活かさない	1
0	不明	2
合計		68

(2) 満足度		人数
1	満足	22
2	まあ満足	28
3	どちらでもない	13
4	やや不満	2
5	不満	0
0	不明	3
合計		68

#### 4. 今後、企画してほしい研修など

- ・利用者(参加者)が何を望んでおられるのか、生きがいはどこで得られるかが探れるような企画
- ・認知症について・・・生活支援
- ・疾患、最新治療法
- ・総合事業を広げるような研修
- ・総合事業と地域との連携
- ・事例検討
- ・社協さん、地域コーディネーターの活用方法(連携方法)や実際
- ・今回の内容を地域側から見るとどう見えるのか、住民に発表してほしい。

地域と連携したいと言いながら施設から発信しようというより、地域に受け入れてもらいたいという受け身の姿勢をアンケートから感じ、本当に連携しようと思っても難しいだろうと感じた。こうしたい、こうやっていきたいという前向き、積極的なテーマの話聞いてみたかった。

- ・ごみ屋敷への対応
- ・総合事業についての理解、利用者がどういうことを望んでいるのか？
- ・地域の方との関り方・・・特に苦勞した実例。

#### 5. ご意見・ご感想等

- ・主催者の思いと利用者(参加者)の気持ちのギャップを感じます。利用者が企画の立てていく中に入っていないと思います。事業所の営利目的と間違えられそうな展開にも見えます。(これは?)先づ場所(公民館など)を考え次に人の問題、福祉委員ともっと共有されたら如何でしょう。
- ・デイネット部会の研修会に参加させて頂き、デイサービスでのセミナー、サロンの活動を知る事ができてよかった。地域と事業所との関係づくりは大切だと思った。自分の事業所でも何かできないかと考えるきっかけになった。
- ・スライドが分かりやすかったです。アドバイザーが良かったです。
- ・今回の研修会は質問しやすく、色々な思いを聞くこともできた。
- ・地域の方の力に感動しました。その絶大な力を活かせるようにまず自ら地域に出向いていきたいと思えます。
- ・福祉委員会開催行事に毎回内容を考えることが大変な様です。出張講座をするにも1つでは!
- ・2ケースの話はとてもよかったです。地域とのつながりの大切さを感じました。
- ・今回の研修に参加させて頂き、各事業所が取り組まれ、努力されていることを知り、勉強になりました。また地域の方からの発言を聞き、自分が介護に携わった視点では無い意見は重要だと思いました。
- ・ありがとうございました
- ・専門職はやっぱり難しい言葉を使いたがるし、分かりにくいと思いました。



- ・ 身体を動かしたいと思う人は多いと思います。スタートを公園やグランドを利用。参加しやすい環境でポイントカードを利用するのも楽しみカードとして良いと思う。
- ・ 地域とのかかわりを広めるための活動をどのように、より多くの人に知って頂くかはとても大切な事だと思います。今後の地域との連携を図るためにはよい研修に参加させて頂きありがとうございました。
- ・ デイネットの皆様の志の高さに感動しました。包括ももっとネットワーク作りを頑張らないといけませんね。
- ・ 名古屋トヨペットについては知っていましたが、実際に利用されているとの事。今後、参考にさせていただきます。

地域との連携、特に町内会や福祉委員会の話をする際は、担当の社協職員も発表者に加えて下さい。内容やニュアンスが違って伝わってしまう所がありました。地域住民には分かりにくい用語等ありましたので、地域に案内をかけるのであれば気をつけていただきたい。総合事業？包括？ケアシステム？→予備知識がないと分からない。

事例発表においては、施設側だけの話ではなく連携相手の地域の意見、それをとりついだコーディネーター役の意見など、様々な立場からの意見を聞いてみたかった。資料の字が小さくて読みづらい。アドバイザーさんのお話は分かりやすく、説得力もありよかったです。

地域でご活躍されている方(民生委員さま)のお話を聞けたことがよかったです。また施設の方の悩みが聞けたことも勉強になりました。今後の業務に生かしたいと思います。ありがとうございました。

今回は地域に関するテーマでしたので、各町内福祉委員会にも周知をいたしました。高齢の方が資料を見ますので、もう少し文字を大きくしてもらえると良かったです(紹介事例2)

- ・ 水曜日昼間に開催してほしいです
- ・ 地域の方の声(意見)聞けて良かったです。
- ・ 介護施設と地域の人の中に入ってコーディネートできるように頼られる存在にならなくては・・・と思いました。大変勉強になりました。
- ・ 今回初参加で、又専門職でないが、町内会で福祉に関わるようになり、事業者との連携等、参考になる点もありました。勉強になりました。
- ・ 今後のサロン活動に生かしたい。
- ・ 連携の具体的な内容がもっと説明されると良いと思います。
- ・ 資料の中に写真があると判りやすいと思う。地域の方も参加すると良い・・・今後の課題
- ・ 事業所であればその施設に特化した内容にすべき。回数を重ねる中で、楽しんでいただくものかと考える。
- ・ 民生委員になり、まだ新しいものですから、勉強になりました。

平成29年9月30日 認知症を知る講演会  
アンケート集計結果

第1部: 劇団サルビー見守り隊 第2部: 武地 一先生(藤田保健衛生大学医学部 認知症・高齢診療科教授)

※当日来場者数:440名、アンケート回収数:302枚

1. 年齢		実数	%
1	20歳未満	0	0.0%
2	20代	3	1.0%
3	30代	4	1.3%
4	40代	23	7.6%
5	50代	52	17.2%
6	60代	77	25.5%
7	70代以上	143	47.4%
0	不明	0	0.0%
合計		302	100.0%

2. 性別		実数	%
1	男	79	26.2%
2	女	223	73.8%
0	不明	0	0.0%
合計		302	100.0%

3. 職種		実数	%
1	地域住民等	185	61.3%
2	民生委員・町内会関係者等	32	10.6%
3	医療職	13	4.3%
4	介護・福祉職	31	10.3%
5	その他	41	13.5%
0	不明	0	0.0%
合計		302	100.0%

4. わかりやすい内容か?(寸劇)		実数	%
1	分かりやすかった	189	62.6%
2	まあまあ分かりやすかった	74	24.5%
3	よく分からなかった	3	1.0%
4	まったく分からなかった	1	0.3%
0	不明	35	11.6%
合計		302	100.0%

5. 満足度(寸劇)		実数	%
1	大いに満足	172	57.0%
2	おおむね満足	90	29.8%
3	やや不満	4	1.3%
4	不満	1	0.3%
0	不明	35	11.6%
合計		302	100.0%

6. わかりやすい内容か?(講演)		実数	%
1	分かりやすかった	150	49.7%
2	まあまあ分かりやすかった	102	33.8%
3	よく分からなかった	3	1.0%
4	まったく分からなかった	0	0.0%
0	不明	47	15.5%
合計		302	100.0%

7. 満足度(講演)		実数	%
1	大いに満足	111	36.8%
2	おおむね満足	141	46.7%
3	やや不満	3	1.0%
4	不満	0	0.0%
0	不明	47	15.5%
合計		302	100.0%

8. ご意見・ご感想

- ・ 駐車場がこんなに混むとは思わなかった。年配の方も多いので、途中休憩があればよいなと思いました。話・劇の内容もとても分かりやすかった。
- ・ 寸劇とても良かったです。第2回目楽しみにしています。武地先生よく分かりました。認知症の勉強になりました。専門職向けも聞きたいと思いました。
- ・ とても分かりやすく楽しく勉強させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 認知症の初期、中等度、終末期の程度がどの程度か知ることが出来たり、どのような支援、サポートをする機関があるのかということが分かりました。また、認知症カフェはただお茶を飲むだけではない、本人やご家族の方にとって大切な場所になるということも今日初めて知りました。今後も勉強をしたいと思います。サルビー見守り隊の皆さん。武地先生ありがとうございました。
- ・ 父が入院を機に急に年寄りになってしまった。父の寂しさも分かるが、母の介護の大変さのほうに気がなる。この講演も父を一人に出来ず聞きに来ることが出来なかった。介護する方のケアが知りたい。母が心配。カフェが増えるといいですね。
- ・ 認知症については分かり易く楽しい寸劇でした。すばらしかったです。武地先生のご講演、認知症についての取り組み内容が分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 認知症のことが今までよりも理解できました。
- ・ 要約筆記をつけて下さりありがとうございました。カフェの重要性がよく分かりました。
- ・ いろいろな情報が家にいると入りにくくなります。市でこのような講演があるととてもうれしい。
- ・ 認知症になったらと不安ばかりでしたが、そのときが来たら、こもらず外にでているんな話を見聞きたい。楽しく過ごしたい。

- ・とても聞きやすく分かりやすいお話の方法で、長い時間もあっという間でした。周りの人にオープンに出来て心から信頼でき話し合いが出来る人は運の良い人だと思います。もっと皆に頼れる地域になることを心から願っております。
- ・母、主人が認知症の時があったので、思い出しながら参加しました。
- ・市民公開講座は毎回受講しながら、自分自身や家族の健康維持、介護予防について再認識しています。ありがとうございました。
- ・武地先生の講演は時間が足りなかった。もう少し伺いたいと思いました。まだまだ知らないことが多いのだと実感しました。
- ・カフェでの友達が出来、介護する方のお話が聞けるなど普通のカフェと少し違うけど地域の活動できるとも勉強できました。
- ・見つかるつながるネットワークの制度がよく分かった。他の人たちにも教えてあげたい。認知症カフェを作るスタッフになり役に立ちたい。
- ・長い年月をかけて状態変化していくことがよく分かりました。本人を安心させることが大事と分かりました。
- ・おばが認知症になり、認知症について知りたくて参加しました。どんな支援があるのか知ることが出来、良かったと思いますが、本人の困った行動に対する対応については今から勉強していかなければいけないのだと分かりました。家に帰ったらガイドブックで復習をします。
- ・良いお話が聞けてよかった。次回は事例のお話が聞けたらと思いました。
- ・認知症カフェを初めて知りました。10年以上義母の介護をして一昨年亡くなりました。ヘルパーさんからの情報とは違ったことを教えていただけるカフェは楽しそうです。
- ・認知症カフェと初めて聞きました。コミュニティーカフェは知っていますが、高齢者に対するいろいろなことが行われているのですね。お話を聞いてよかったです。認知症について勉強することが大事ですね。心を広く接することが大切ですね。
- ・今は大丈夫と思っていますが、お話を聞いて少し不安になりました。脳を使い体を動かし対話に心がけ認知症にならないようにしたいです。
- ・とっても良いお話を聞きよかったです。私も年を取り、周りに迷惑をかけないように気をつけたいです。
- ・これからの認知症対策はカフェがとても大事になると感じました。本人または家族にとってはうれしいことだと思います。
- ・とても分かり易く良かったです。
- ・大変勉強になりました。自分のこと、主人のこと、子供たちに伝えることになります。近所の方々にも伝えたいと思います。
- ・家族と相談して医者にかかることにしたい。
- ・講演は分かりやすくよかったです。
- ・講師の先生に敬意を表します。このような機会に出会えてよかった。
- ・カフェや受診に行けるきっかけをもっと聞きたかった。
- ・具体的な話が聞けて大変分かりやすかった。
- ・認知症についての知識は更新していかないといけないと思っています。
- ・寸劇が良くできていました。ありがとうございました。
- ・認知症カフェの立ち上げ、継続等勉強になりましたが、現実認知症の夫婦、または家族の方が参加されるのか、最初の1歩が大切だが、一度参加されれば続くと思われるが…。
- ・実母が認知症になり始め段々実感があるが、今日の講演をきいて、もう少し踏み込んだ対応が出来そうな気になり、力付けられました。
- ・認知症カフェに関して講演は非常に為になった。定義多くあるのが分かった。
- ・認知症カフェの名前を知りました。安城市にも作ってほしい。
- ・認知症についての話をいろいろ聞いたことは参考になりよかったです。
- ・安城市見つかるつながるネットワークについて知れてよかった。友人の両親が認知症になり、人事と思えず受講しました。知らなかったことがいろいろと分かり受講してよかったです。
- ・サルビー見守り隊の劇の内容が分かりやすかった。子供が見ても大人が見ても分かりやすいと思った。次回が楽しみです。

# 協力事業者一覧

平成29年10月17日現在

資料4

	企業名・団体名		企業名・団体名
1	中日新聞安城販売店会	18	ありがとうサービス株式会社
2	朝日新聞市内販売店	19	株式会社 魚初
3	読売新聞市内販売店	20	けんたくん三河店
4	(株)セブン-イレブン・ジャパン	21	株式会社 Smile Life
5	株式会社 ローソン	22	まごころ弁当 安城店
6	山崎製パン株式会社 デイリーヤマザキ事業統括本部	23	株式会社 美炎
7	日本郵便株式会社郵便事業総本部安城郵便局	24	ワタミ株式会社
8	株式会社三菱UFJ銀行安城支店	25	一般社団法人 安城市医師会
9	あいち中央 農業協同組合	26	一般社団法人 安城市歯科医師会
10	碧海信用金庫	27	安城市薬剤師会
11	岡崎信用金庫	28	愛知県タクシー協会 刈谷碧南支部
12	豊田信用金庫	29	中部電力株式会社 刈谷電力所
13	布亀株式会社	30	東邦ガス株式会社 刈谷営業所
14	生活協同組合 コープあいち	31	アピタ安城南店
15	トヨタ生活協同組合	32	愛知中央ヤクルト販売株式会社
16	かりや愛知中央生活協同組合	33	公益社団法人 愛知県宅地建物取引業協会 碧海支部
17	第一生命(株)岡崎支社		